

新型コロナウイルス感染予防対策に伴う現在の活動状況

新型コロナウイルス感染予防のために、午前と午後に分かれて、約半数ごとの団員で練習をしています。その際、ガイドラインに則り、以下のことに注意し活動しています。

【参加への判断について】

◇新型コロナウイルスの状況から、練習への参加は、ご家庭でよく話し合っただけで参加の可否を保護者の判断で決めていただいています。

安心して参加してもらうために、以下のとおり、感染予防対策を講じています。

【練習会場】

◇練習会場内に手指消毒液を設置し、各自で消毒。

◇手が触れやすい場所の消毒除菌。

◇演奏配置はそれぞれの団員が1m以上離れるようにセッティング。

◇大ホールの場合

- ・舞台上は広く使用し、荷物置き場として客席などのスペースも有効活用することで、密集、密接しないように練習を実施。
- ・換気を強化するために、空調設備を稼働させ客席扉を全て開放した状態で練習を実施。休憩時には、反響板を開いて舞台上の換気を実施。

◇練習室・会議室の場合

- ・各会場に分かれ、分散して練習を実施。
- ・換気を強化するために、扉を全て開放した状態で練習を実施。空調設備を稼働し、また、サーキュレーターを用いて、換気を実施。

【来場時・帰宅時の留意点】

◇練習参加前に自宅で検温し、熱が37℃以上の場合や、味覚・嗅覚障害や関節痛、風邪のような症状がある場合は、練習は不参加。

◇新型コロナウイルス感染者により学校が休校になった場合、また、感染者と疑われる方と接触があった場合も不参加。

◇入場時、職員がロビーにおいて検温。

◇体調不良で欠席する団員は、事務局に症状を連絡。

◇公共交通機関を使用する場合は、必ずマスクを着用。

【練習中の留意点】

◇常時、マスクを着用し1m以上の間隔を確保。

◇演奏する際、弦楽器・打楽器はマスク着用。管楽器は演奏時以外マスク着用。

◇入館時や休憩中など手洗い、うがい、手指の消毒。

◇団員は体温計を持参し、休憩時に検温することで体調を把握。

※なお、感染状況により、その都度対応を検討しますので、対応に変更が生じる場合があります。